

## 平成17年度に係る業務の実績に関する評価結果について

国立大学法人山形大学は、文部科学大臣から示された6年間において達成すべき業務運営に関する中期目標に基づき、当該目標を達成するための中期計画を作成するとともに、毎事業年度開始前に業務運営に関する年度計画を定め、文部科学大臣に届け出て、毎年度終了後に国立大学法人評価委員会の評価を受けています。

平成18年9月29日に、別紙のとおり国立大学法人評価委員会から法人化2年度目となる平成17事業年度に係る業務の実績に関する評価結果の通知を受けました。

このたびの評価結果では、本学の中期計画に沿った取組みに対して、進行状況は総じて「年度計画を上回って実施している」乃至「年度計画を十分に実施している」旨の評価をいただきました。

昨年度は、「これから2年間の山形大学の行動指針」学長マニフェストを公表し、大学の方向性をわかりやすく明示したことや、昨年度の評価結果を真摯に受け止め、全職員が一丸となって取り組んだ結果が高く評価されたものと思われます。

本学は、本学独自の特色ある取組みに更に充実を図り、本学の理念である「自然と人間の共生」「充実した人間教育」「社会との連携重視」の実現に向け、教育研究の質の向上を始めとする大学改革にまい進する所存です。

平成18年10月2日

国立大学法人山形大学長

仙道富士郎